



八雲町産ぶどうを使用したワイン醸造とワイナリー設立を目指して！

## 醸造用ぶどう苗木の植樹体験が行われました

5月21日、町が整備をした醸造用ぶどう栽培試験ほ場（三杉町）にて、町内の児童発達支援・放課後等デイサービス（mana、ファイン）の児童および職員を対象としたワイン醸造用ぶどう苗木の植樹体験が行われました。

この体験は、八雲町でワイナリー設立を進めていくにあたり、将来的な農福連携による新たな雇用・産業の創出を目指すモデル的な取り組みを実現するための足掛かりとして実施されました。

当日は、600本の苗木が植樹され、そのうちの150本を児童たちの手で植えました。体験に参加した児童は楽しみながら、植樹体験を行いました。

今回植樹されたぶどうは、3年後に美味しいワインへと変身することが期待されます。



牛も観戦！牧歌的な風景を駆け抜けて！

## 第39回やくもミルクロードレース大会

6月9日、八雲スポーツ公園陸上競技場を発着点として、第39回八雲ミルクロードレース大会が開催されました。ハーフマラソン、10km、2kmの各部でレースが行われ、町内外から総勢約250人が参加しました。

小雨がぱらつくあいにくの天候でしたが、大新・春日地区の牧歌的な風景は新鮮で、「気持ちよく走れた」との声もありました。

また、レース後には八雲の特産品が当たる抽選会や、JA新はこだて酪農生産部会八雲支店による消費拡大運動の一環として牛乳の無料配布が行われ、参加者は最後まで大会を楽しんでいました。

